

玉名市(大浜町)の2人が 鎮西高校バレーボール部で 全日本バレーボール高校選手権(春高バレー) 「優勝」!(21年ぶり3度目) 昨夏の全国高校総体(インターハイ) 優勝とあわせ2冠達成。



2 人は幼なじみ。
鎮西高は小2、
松野君は小3の時か

これまで春高バレーでは1年生の時
に準優勝、2年生で初戦敗退。熊本地
震で被災した学校の体育館が使えない
中、3年目の今回念願の優勝を果たし
ました。大学進学後、チームは別にな
りますが、2人ともバレーを続けます。

「優勝したときの気持ちは？」

鎮西高バレー部が3年間の目標だった
ので達成できてホッとしている。優
勝したいという3年生の思いの強さ
が優勝につながったと思う。3年間の
一番の思い出は春高で優勝したこと」

松野「試合に出られなかった3年生(自
分も含め6人)の優勝したいという
思いの分までレギュラー7人ががん
ばって来て、優勝できてうれしい。
自分はマネージャーだったが、選手
が試合でがんばるために準備したり
言葉をかけてきたりしたことが報わ
れてうれしい」

春の高校バレー 優勝



第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会
平成30年1月8日(東京体育館) 3番: 鎮西選手 15番: 松野選手

「2人でいてよかったと思うところ
を打って一緒に練習した。それが今
の自信につながっている。スパイク
が磨かれてきた」

「マネージャーとしてベストコン
ディションで選手を試合に送り出
すという大変さがあったのでは？」

松野「最初は試合に勝つ負けるじゃな
く、選手が一番いい状態で試合に臨
んでもらえれば満足だったが、優勝
という結果につながって、マネー
ジャーをやった良かったと思った」

鎮西高バレー部優勝メン
バーで玉名市出身の2選
手が1月16日、全国優勝を市
長へ報告しました。訪れたのは
鎮西高バレー部は1月の全
日本高校選手権で見事優勝し、
昨夏の全国高校総体とあわせて
高校2冠を達成。決勝戦で31
得点を挙げ大会 MVPにも選ば
れたエース鎮西選手は主将とし
てチームをけん引、松野選手は出場機会はな
かったものの持ち前の気配り能力を生かして
マネージャーとしてチームを支え、歴史的快
挙に貢献しました。

市長からは、「大変誇らしく思っている。
テレビで応援していた。インタビュー
で父母への感謝を述べているのを見てジーン
とした」「ぜひオリンピックの代表になっ
てほしい」「それぞれの今後の活躍に期待し
ている」とエールが送られました。

2人は大浜小時代からの同級生。そんな2人
に、これまでとこれからのことをインタビュー
しました(次頁)。



Shunsaku Matsuno
松野俊作(18)

身長178cm。大浜小・有明
中出身。中3で熊本県代表
としてJOCジュニアオリ
ンピックカップ全国都府
県対抗中学バレーボール大
会に出場。

Kenshin Kuwada
鎮西選手(18)

身長190cm。大浜小・有明
中出身。中3で全日本中学
選抜男子メンバー、県代表
としてJOCジュニアオリ
ンピックカップ出場(最優
秀選手、大阪府知事賞、オ
リンピック有望選手)。



有明中時代の2人(平成26年10月)

「お互いについて思ってる
鎮西高バレー部が大好き、
マネージャーとして
バッチリ」

「お互いについて思ってる」

鎮西高バレー部が大好き、
マネージャーとして
バッチリ」

松野「鎮西高校のように本格的にやる
大学ではないが、まずは体づくりか
らがんばる。勉強もバレーも、楽し
くがんばりたい」

「自分たちの時より選手が増えている
のでうれしい。選手には中学高校でも
バレーを楽しんで続けてほしい」

有明中時代から活躍する2人は『広報たまな』「平成26年11月1日号」の表紙以来、「平成27年3月1日号」、「平成28年3月1日号」にも登場。

